

会 議 録	
会議名	第21回日野市地域公共交通会議
日時	平成27年 2月24日(木) 10:00から10:55まで
会場	日野市役所本庁舎505-1会議室
出席者	委員 別紙のとおり
	事務局 都市計画課 岡田課長、浅川課長補佐、壁巢課長補佐、大沢主任
議題	<p>議事</p> <p>(1) 平成26年度事業について(報告事項)</p> <p>(2) 平成26年度利用状況について(報告事項)</p> <p>(3) 平成26年補正予算(案)について(協議事項)</p> <p>(4) 平成27年度予算(案)について(協議事項)</p> <p>(5) 平成27年度事業計画(案)について(協議事項)</p> <p>(6) その他(報告事項)</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ(会長)</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 平成26年度事業について(報告事項) 事務局から説明(資料1)</p> <p>(2) 平成26年度利用状況について(報告事項) 事務局から説明(資料2)</p> <p><意見、質問等></p> <p>委員</p> <p>川辺堀之内路線について、車椅子利用者や主婦の方から朝夕の増便により、非常に使いやすくなったという話を頂いています。1時間に1本ではなく、もう少し多くバスを走らせて欲しいという意見もあったが、今後の予定など教えて頂きたいです。</p> <p>⇒先ほど説明したように、川辺堀之内路線のバス利用人員は前年比73%伸びていますが、時間延長によるものが非常に大きいと考えています。更なる時間延長や増便という話ですが、日野市内全線において同じような要望が多くあり、どのように対応していくのか検討しています。</p>	

京王電鉄バスに補助金を出して運行していますが、厳しい財政状況の中、予算の増額が難しく増便に対応しきれていない所があります。

また、日野市の第一の課題として、いわゆる交通空白地域といわれる、近くにバスが通っていない地域をどう解消するかということがあるが、直接バスが乗り入れられない様な道路も多々あるので、まちづくりと併せて解消していかなくてはいけないのだろうと考えています。

平成22年の再編から、バス利用者人員は右肩上がり伸びていますが、今後、更なる飛躍の為には、何らかの形で対応していかねばと思いますが、まずは内部で検討し、交通会議に諮っていきたいと考えており、近々の増便については難しいと考えています。(事務局回答)

委員

すぐに増便出来ない事や他の路線でも要望がある事も分かりました。なので、どの時間帯の利用率が高いのかというデータを集めて頂くというのも、今後の課題かもしれないし、そういった所に力を入れて頂きたいです。また、鉄道路線に比べるとバス路線は使い勝手があまり良くないというイメージがありますが、バスも鉄道と同じように使いやすいというイメージを作って頂きたいと思います。

会長

三沢台路線の利用率が、一番落ち込んでいますが、過去何回かチラシを配ったりアンケートをとったりして利用啓発に努めましたが、現状として落ち込んでいる原因として考えられることを説明して頂きたいです。

⇒資料で確認頂けるように、私どもの分析では、三沢台路線と落川路線の利用人員が若干落ち込んでいます。その他の5路線は前年に比べてかなり上がっていますが、要因の一つとしてイオンモールが出来たことが大きいと考えられます。三沢台路線と落川路線の区域については、高齢化社会による人口減少など人口増が見込めない状況があり、まちづくりと一緒にやっていかねばいけないのではないかとはい思いますが、前回、バスのPRチラシを配布して少し利用者が増えた状況もあるので、何らかの対策をしていきたいと思えます。

(事務局回答)

副会長

平山循環路線の経路変更に伴い、利用者や地域住民からの声など、何かありましたか。

⇒良かったという声はなかなか上がってきませんが、この路線について反対の意見は全くなく、喜んで頂いているのではないかと認識しています。(事務局回答)

委員

いろいろな事業報告があった中で、二小と京王バスのラッピングをやっている事を知らなかったのですが、ホームページ等で周知したのですか。

⇒申し訳ございません。周知していませんでしたので早急にホームページ等を活用し周知していきます。(事務局回答)

(3) 平成26年補正予算(案)について(協議事項)

事務局から説明(資料3)

(4) 平成27年度予算(案)について(協議事項)

事務局から説明(資料4)

<意見、質問等>

特になし

<議決>

会長

- ・平成26年度補正予算(案)及び平成27年度予算(案)について異議ないか。
《異議なしの声》
- ・平成27年度補正予算(案)及び平成27年度予算(案)について承認した。

(5) 平成27年度事業計画(案)について(協議事項)

事務局から説明(資料5)

<意見、質問等>

委員

運行事業者との連携で、車内環境の改善や乗務員教育の向上を図るとのことですが、具体的なプランは持っているのですか。

⇒具体的なプランは持っていません。特に苦情などは無いのですが、今後、車内環境の改善や乗務員教育の向上に向けて何ができるのか検討させて頂き、運行事業者である京王電鉄バスと協力し合いながら調整していきたいと思っています。(事務局回答)

会長

豊田駅南口ロータリー新設に伴う各種検討とは、どのような検討が想定されるのですか。

⇒豊田駅南口周辺は、今、区画整理事業で面整備を進めていますが、平成28年度末には、暫定的な完了による駅前広場ができる予定です。

現在、豊田駅南口を起終点にしているバス路線は一つしかなく、豊田駅北口に集中している状況もあり、区画整理課と調整しながら、路線・バスロータリー・タクシープール・バス停・バス待ちスペース等、検討を進め、暫定的な位置を確定させて、平成28年度末には北口の一部の路線を南口の方に持っていけると良いと考えています。(事務局回答)

⇒補足します。豊田駅の南側は、狭隘道路のためバスが全然走れていません。駅前ロータリーの整備に合わせ、これにつながるアクセス道路の整備も行います。現在、北側が混んできているという事から、交通の分離を図りたいと考えており、北側に集中している一般バスルート、またスクールバスルート、関連するタクシー会社のルートなど、時期は確定できませんが、これらを整理するため、関連企業や日野警察の協力を得ながら検討していきます。(委員回答)

委員

自身関わったアンケートの中に、車椅子の方がバスに乗車した際、スロープの出し入れが上手くいかず、出発するのに時間がかかってしまった時、乗り合わせた乗客の方から「いつ出発するんだ」と声をかけられるという出来事があり、その後、自分が乗ったことでバスを遅らせてしまったという感覚に陥り、バスに乗るのが非常に怖くなってしまったというものがありました。

運行事業者との連携という部分で、車椅子の方が乗る際に、スロープの出し入れがスムーズに出来るような指導をするなどの機会を作りたいです。

⇒ご意見ありがとうございます。スロープのスムーズな設置については、京王電鉄バスと話をしていきます。それと同時に、車椅子の方が乗車することによって時間が少し遅れてしまう事もあると思いますので、乗車している方々にご協力いただけるような啓発活動を日野市としてやれるのではないかと思いますので、改めて事務局で検討し、何らかの形で報告します。(事務局回答)

⇒ただいまの意見は、事業者の立場からも貴重な意見だと思います。現在も操作の徹底については、乗務員への教育を実施しており、スロープ版自体の出し入れがもっと簡単にできるような機器の改善も行っておりますが、これからも継続していきたいです。また、車内でいやな思いをされた方に、その時の乗務員が、そのお客様に対して声をかけるなどのコミュニケーションを図る事で改善される部分があると思いますので、そういった相手の立場、気持ちをくみ取るコミュニケーションが図れるように、障害者の支援団体の皆様と話し合う場を設けたり、そういった団体が主催する研修会等に乗務員を派遣して教育するなどの取り組みを2年ほど前から始めています。徐々に乗務員のレベルアップを図っており、快適に利用して頂けるようにしたいと思っています。

(委員回答)

委員

京王バスだけでなく、バス事業者として、これから高齢化社会を迎える中で、何か根本的なバスの改良等、それにむけた取り組みはあるのですか。

⇒バリアフリー対応などで取り組み始めており、現在では市内を走る路線バスは全てノンステップバスになるなど、かなり進んでいると思います。

これからはコミュニケーションを図るなどといった部分が非常に重要であると思い、高齢者の気持ちを分かってもらう為に、例えば乗務員研修の中で高齢者の感覚を味わえるような機器を使って高齢者疑似体験する教育をするなどしてコミュニケーション力の強化に取り組んでいます。

また、見やすい表示や簡素化された情報提供及びＩＣ化を進めていますが、これは高齢者の方でも使いやすいという方向につながっていくのではないかと考えています。様々な視点があると思いますので一步一步取り組んでいきたいと考えています。(委員回答)

委員

平成 27 年度事業の南平路線の一部経路の営業路線化というのは、回送ルートを営業運行に変えるという話ですが、そもそも、このきっかけは何だったのですか。

⇒まず、南平路線は高幡不動駅から豊田駅南口まで往復している路線を基本として、午前中だけ、午後だけの路線もあり、大きく分けて三つになります。そのうち午後だけ運行する高幡不動駅から北野街道口の路線では、回送扱いで終点の北野街道口から北野街道を通過して高幡不動駅に戻る状況になっており、単純に、この区間を回送しているのはもったいないのではないかと考えています。また、今東京都が道路の拡幅工事を行っていて、バスを運行させやすい環境整備が進んでいるといった状況もあり、回送ルートを営業化してやらせて頂こうと考えています。(事務局回答)

委員

利用者から要望があったということではないのですか。

⇒利用者からの要望はありますが少数です。特に、この北野街道口の周辺の方々からはそのまま回送にするのなら乗りたいというような意見、要望はあり、そのあたりの事も含めて、京王電鉄バスから提案があったので、どのようにしていくのかは、これから京王電鉄バスと相談しながらやっていきます。

(事務局回答)

<議決>

会長

- ・平成 27 年度事業計画 (案) について異議ないか。

《異議なしの声》

- ・平成27年度事業計画（案）について承認した。

(6) その他（報告事項）

事務局から説明（資料6）

<意見、質問等>

特になし

(事務局)

次回会議は、8月下旬から9月初頭にかけて第22回の会議を予定しています。